

令和4年度授業改善推進プランの評価

[低学年]	
[中学年]	
[高学年]	

実態

[低学年] 活動に楽しみながら取り組んでおり、外国語に対する親しみをもっている。
[中学年] 話す、聞くことに対して単元ごとの英単語を聞くことはできているが、話すときになって単語が出てこなかったり、正しい発音で話せていなかったりする。
[高学年] ゲームなどの活動は楽しんで行う一方で、実際に声に出したり、対話をしたりすることに消極的な児童がいる。

指導上の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・低学年は外国語の回数が少ない(年間8回)ため、外国語にふれる機会が不足している。 ・ALTの発音やデジタル教材の音声などを意欲的に聞こうとする児童が多い一方で、基礎的な言語能力に差があり、理解につながらない児童も多い。 ・ALTからの英語の問いかけに英語が得意な児童はすすんで答えている反面、英語が苦手な児童は得意な児童に任せてしまい、習熟に結びつかないことがある。
--

令和5年度の具体的授業改善

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語に親しみをもてるように、ゲームや歌など遊び感覚で取り組める活動を多く入れる。 ・英語カフェなど、授業時間外でも外国語にふれることができる機会を設定していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や家庭学習などで、アルファベットを書いたり、英単語を写したりする活動を繰り返し行い、文字に親しむと同時に、基礎的な学習事項が身に付けられるようにする。 ・ALTとの関わり合いを通して、音声やリズムに慣れ親しませ、単語の意味や日本語との違いについて分かるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを取る活動の際には、少人数で行い、なるべく多くの児童に発言の機会があるようにする。 ・学習形態をパターン化させることや、単語や表現の仕方を繰り返し練習することで、一人一人が自信をもって活動できるようにする。 ・学習者用デジタル教科書を活用した全体指導と個別指導を行い、児童が自分の実態に応じた学習を進められるようにする。